



# Talend Open Studio for Data Qualityリリースノート

## 7.3.1

Last updated: 2020-02-26

# 目次

<b>Copyright.....</b>	<b>3</b>
<b>システム要件.....</b>	<b>4</b>
<b>Talend Open Studio for Data Quality: 新しい機能.....</b>	<b>5</b>
Data Quality: 新しい機能.....	5
<b>Talend Open Studio for Data Quality: バグ修正.....</b>	<b>6</b>
<b>Talend Open Studio for Data Quality: 非推奨および削除されたアイテム.....</b>	<b>7</b>
言語サポート.....	7
<b>Talend Open Studio for Data Quality: 既知の問題と制限事項.....</b>	<b>8</b>
Data Quality: 既知の問題と制限事項.....	8
<b>ドキュメンテーション.....</b>	<b>10</b>
<b>欠陥と問題点のレポート.....</b>	<b>11</b>

# Copyleft

7.3.1に対応しており、以前のリリースの更新版となります。

このドキュメントの内容は公開の時点で正確なものです。

ただし、オンライン([Talend Help Center](#))で最新の更新バージョンが入手できる場合があります。

このドキュメンテーションは、クリエイティブコモンズ公共ライセンス(CCPL)の条件の下で提供されています。

CCPLに準拠した本ドキュメンテーションにおける許可事項および禁止事項の詳細は、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.0/>を参照してください。

## 商標について

TalendはTalend, Inc.の商標です。

すべてのブランド、商品名、会社名、商標、およびサービスマークは各所有者に帰属します。

## ライセンス契約

このドキュメンテーションに記述されているソフトウェアは、Apache License、バージョン2.0 (以下「本ライセンス」という)の下でライセンスされています。本ライセンスを遵守せずに、このソフトウェアを使用することはできません。ライセンスのコピーは、<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0.html>で取得できます。当該の法律による要求または書面での同意がない限り、本ライセンスの下で配布されるソフトウェアは、「現状有姿」で、明示または暗示にかかわらず、あらゆる保証あるいは条件なしで提供されます。ライセンスの下で許可および制限を適用する特定の言語のライセンスを参照してください。

この製品には、ASMで開発されたソフトウェア、AntLR、Apache ActiveMQ、Apache Ant、Apache Axiom、Apache Axis、Apache Axis 2、Apache Chemistry、Apache Common Http Client、Apache Common Http Core、Apache Commons、Apache Commons Bcel、Apache Commons Lang、Apache Datafu、Apache Derby Database Engine and Embedded JDBC Driver、Apache Geronimo、Apache HCatalog、Apache Hadoop、Apache Hbase、Apache Hive、Apache HttpClient、Apache HttpComponents Client、Apache JAMES、Apache Log4j、Apache Neethi、Apache POI、Apache Pig、Apache Thrift、Apache Tomcat、Apache Xml-RPC、Apache Zookeeper、CSV Tools、DataNucleus、Doug Lea、Ezmorph、Google's phone number handling library、Guavaが含まれています：Java、H2 Embedded Database、およびJDBCドライバー用のGoogle Coreライブラリ、HighScale Lib、HsqlDB、JSON、JUnit、Jackson Java JSON-processor、Java API for RESTful Services、Java Universal Network Graph、Jaxb、Jaxen、Jetty、Joda-Time、Json Simple、MapDB、MetaStuff、Paracel JDBC Driver、PostgreSQL JDBC Driver、Protocol Buffers - Google's data interchange format、Resty: Java用の単純なHTTP RESTクライアント、SL4J、SL4J: Simple Logging Facade for Java、SQLite JDBC Driver、The Castor Project、The Legion of the Bouncy Castle、Woden、Xalan-J、Xerces2、XmlBeans、XmlSchema Core、atinject。各ライセンスの下でライセンスされています。

# システム要件

インストールとシステムの要件については、Talend Help Center (<http://help.talend.com>)で『Talendインストールおよび移行ガイド』を参照してください。

# Talend Open Studio for Data Quality: 新しい機能

## Data Quality: 新しい機能

## Talend Open Studio for Data Quality: バグ修正

新しい機能に加え、細かな改善と重要なバグ修正が全製品に施されました。個別の問題については、バグ追跡システムで対応する変更ログを参照してください。

モジュール	変更ログ
Data Quality	<a href="https://jira.talendforge.org/issues/?filter=31329">https://jira.talendforge.org/issues/?filter=31329</a>

# Talend Open Studio for Data Quality: 非推奨および削除されたアイテム

## 言語サポート

7.3リリース以降、コミュニティベースのUIローカリゼーションシステム(Babili)の使用は停止されます。

Talend製品のローカリゼーションはすべてTalendによって内部処理されるようになりました。そのため、製品で利用できる言語はフランス語、日本語、(部分的に)中国語に限定されます。Talendは今後、これらの言語に対してメンテナンスとサポートを提供していきます。

7.3リリース自体については、全コミュニティ言語とその言語による一部翻訳は引き続き利用可能です。Talendは、後続のリリースでそのような言語を削除する権限を有します。

# Talend Open Studio for Data Quality: 既知の問題と制限事項

## Data Quality: 既知の問題と制限事項

未解決の問題がすべて記載されたリストについては、JIRAバグ管理ツールを参照してください。

<https://jira.talendforge.org/issues/?filter=31381>

制限事項	説明
Java PSUがサポートされていない	<p>TalendはJava CPUバージョンでのみサポートされています。Java PSUではサポートされていません。</p> <p>一部のユーザーから、Talend StudioでJava PSUバージョン(jdk8_u92など)を使用した時に問題が発生したが、Java CPUバージョン(jdk8_u91など)に戻すと問題が解決したというレポートがありました。</p> <p>次も参照してください: <a href="http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/cpu-psu-explained-2331472.html">http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/cpu-psu-explained-2331472.html</a>。</p>

問題	対処方法
Mac OS Xの新バージョンを使用しているユーザーは、Talend製品をインストールするためにGatekeeperの設定を更新しなければならない場合がある。GatekeeperはOS X 10.7.5で取得可能	<ol style="list-style-type: none"> <li>Appleアイコンをクリックし、<b>[System Preferences] (システムの環境設定)</b>をクリックします。</li> <li><b>[System Preferences] (システムの環境設定)</b>の下で、<b>[Security &amp; Privacy] (セキュリティとプライバシー)</b>をクリックします。</li> <li><b>[Security &amp; Privacy] (セキュリティとプライバシー)</b>の下で、<b>[General] (一般)</b>タブをクリックします。</li> <li><b>[Click the lock to make changes] (変更するにはロックをクリック)</b>のとなりのロックアイコンをクリックし、管理者権限のあるアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。セキュリティ設定を変更できるのは管理者のみです。</li> <li><b>[Allow apps download from] (アプリのダウンロード元として許可する)</b>の下で、<b>[Anywhere] (すべて)</b>ラジオボタンをオンにして、開いたダイアログボックスで選択を確定します。</li> <li>すべてのウィンドウを閉じると、Macは[Security &amp; Privacy] (セキュリティとプライバシー)の設定を再び自動的にロックします。</li> <li>通常のインストール手順に従ってTalend Studio (または目的とするその他の実行可能ファイル)をインストールします。</li> </ol> <p>Talend-Studio-macosx-cocoa.appファイルをダブルクリックすると、インターネットからダウンロードされたアプリケーションであることを示す警告メッセージが表示されますが、<b>[Open] (開く)</b>をクリックすると、その後は中断されることなくインストールできます。</p>



問題	対処方法
	<p>8. インストールプロセスが完了したら、必要なら上記の手順を繰り返して、[Security &amp; Privacy] (セキュリティとプライバシー)の設定を元の値に戻すこともできます。</p>

# ドキュメンテーション

## Talend Help Center

Talend製品を最大限に活用する方法は、Talend Help Center <http://help.talend.com>にアクセスしてご覧いただけます。

## 未解決の問題

未解決の問題を記載した完全なリストは、JIRAバグ管理ツールを参照してください。

<https://jira.talendforge.org/issues/?filter=18375>

# 欠陥と問題点のレポート

有効なサポート連絡先を持つTalendの顧客として、Talendオンラインヘルプデスクをご利用いただけます。または、連絡先に記されている電話番号と電子メールアドレスを使用して、顧客サポートにお問い合わせいただけます。

多くの場合、以下の情報をご提供いただく必要があります。これは、お客様の問題をすばやく診断するのに役立ちます。

- お使いの製品とバージョン(例: Talend Data Fabric 7.3.1)
- オペレーティングシステム(例: Windows Server 2008 R2 SP1 (64bit))
- 使用しているJava Platform JDK / JREのバージョン(例: ORACLE JDK 1.8.0\_161)
- ログファイルおよび/またはスクリーンショット

また、テクニカルサポートチームが十分な情報に基づいて支援できるよう、少なくとも以下について詳しくお知らせください。

- 問題が発生した時点までの操作
- 想定していた結果

サポートヘルプデスクに加えて、コミュニティサポートツールもご利用いただけます。

- [Talendコミュニティ](#)。
- [Talend Bug Tracker](#)もご利用いただけます。
- 関連する契約で提供させていただいているサービスレベルアグリーメントに基づいて処理されるのは、Talendサポートヘルプデスク内のいずれかのTalendサポートチャンネルを通じて作成されたケースに限られます。